

米農務省(USDA)クロープリポート

(5/11発表)

フジフューチャーズ株式会社(情報企画課)

22年5月13日(木)

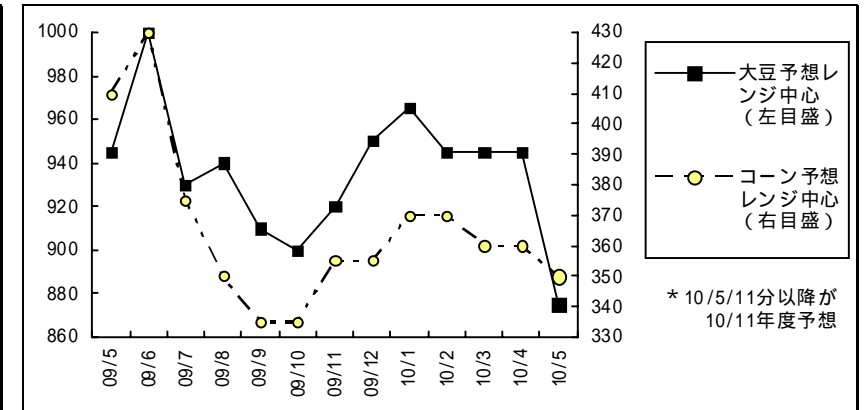
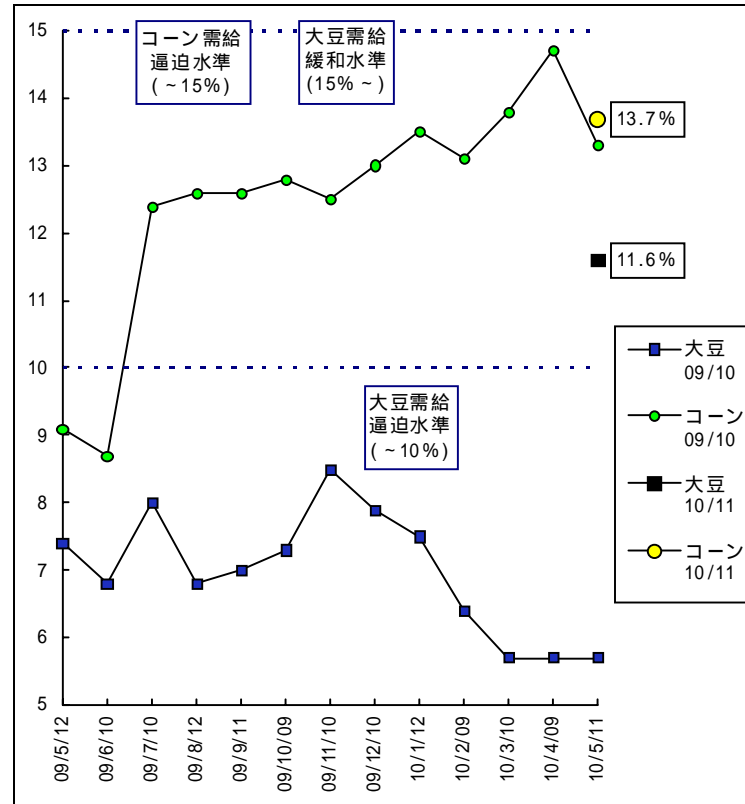
米国大豆需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11年度 5/11 (前年度比)	09/10年度 5/11	4/9
総供給	3510 (-2)	3512	3512
期初在庫	190 (+52)	138	138
生産	3310 (-49)	3359	3359
単収(bu/I-カー)	42.9 (-1.1)	44.0	44.0
総需要	3144 (-179)	3323	3323
国内	1794 (-74)	1868	1878
輸出	1350 (-105)	1455	1445
期末在庫	365 (+175)	190	190
期末在庫率	11.6% (+5.9)	5.7%	5.7%
農家平均価格	800-950 (-75)	950	920-970

米国コーン需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11年度 5/11 (前年度比)	09/10年度 5/11	4/9
総供給	15118 (+325)	14793	14814
期初在庫	1738 (+65)	1673	1673
生産	13370 (+260)	13110	13131
単収(bu/I-カー)	163.5 (-1.2)	164.7	164.9
総需要	13300 (+245)	13055	12915
国内	11300 (+195)	11105	11015
輸出	2000 (+50)	1950	1900
期末在庫	1818 (+80)	1738	1899
期末在庫率	13.7% (+0.4)	13.3%	14.7%
農家平均価格	320-380 (-10)	350-370	350-370

米国大豆・コーン期末在庫率予想の推移



農家平均価格(現物相場)予想の推移

10/11年度の期末在庫率予想(初回発表)は

大豆 [11.6%] = 適正水準 09/10年度比で、「生産高 0.49 億 bu 減(約 1.5%減。作付面積増・単収減。前年度の単収は過去最高だった)」に対して「総需要 1.79 億 bu(約 5.7%)減」となり、期末在庫 1.75 億 bu(約 92%)増・同在庫率 5.9 ポイント上昇。農家平均価格(現物相場)予想の中心は 75 セント引き下げられた。同じく世界全体では、「生産高約 3.1%減・期末在庫約 3.7%増」。

コーン [13.7%] = 需給逼迫水準 09/10年度比で、「生産高 2.60 億 bu 増(約 2.0%増。作付面積増・単収減。前年度の単収は過去最高だった)」に対して「総需要 2.45 億 bu(約 1.9%)増」となり、期末在庫 0.80 億 bu(約 4.6%)増・同在庫率 0.4 ポイント上昇。農家平均価格(現物相場)予想の中心は 10 セント引き下げられた。同じく世界全体では、「生産高約 3.3%増(過去最高)・期末在庫約 4.9%増(00/01年度以来の高水準)。消費量も過去最高」。

この内容は、事前予想との比較で「コーンが強気、大豆は弱気」。発表後のシカゴでは、中国の米国産コーン買い付けにも支援されてコーンが上伸。つれて、大豆はしっかり。市場には、今後、大豆を中心に単収予想の上方修正を期待する向きもある。